

1. 活動の概要

7月6日(金)、雲南市立大東小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。今回は「土器づくり」がテーマで、6年生が5・6校時目に授業を受けました。

前半は大東小学校周辺の歴史や埋蔵文化財について学びました。大東町内にも特別な遺跡があることが分かりました。

次に大東町内の遺跡から出土した土器や、県内出土の縄文土器などを見学しました。縄文土器片は実際に手にとってみて土器を実感しました。

後半は、土器づくり体験を実施しました。イメージしたように土器を形づくるのは難しく、昔の人の苦勞が分かりましたが、それぞれ有意義な土器づくりが体験できました。

2. 活動の様子

1)遺物の見学状況



遺跡から出土した縄文土器を手取るにより縄文人の思いを実感しました。

2)土器づくり体験



思い思いの土器ができあがりました。

3. 活動をおえて

1) 児童の皆さんから

- ・土器づくりが一番心に残った。
- ・いろいろな形の土器や他の時代の土器を作ってみたい。
- ・本物の土器に触れたことが一番心に残った。
- ・土器の文様についてもっと知りたい。また(土器づくりで)うまく文様を付ける方法を知りたい。
- ・勾玉づくりもしてみたい。

2) 担任の先生から

- ・身近な遺跡の見学や実際の土器づくりなども実施してみたい。

3) 埋文センターから

・土器づくり体験は時間内に思い描いたように形づくるのはたいへんであったと思われませんが、分からないところはすぐに質問したりしてそれぞれ真剣にまた意欲的に取り組めたように感じます。周辺の遺跡説明や遺物見学も集中できていたと思われそうです。会場の移動があったり、また限れた時間の中での活動でしたが、先生方のご協力により全体的にはスムーズに進行できました。